

# 環境福祉セミナー **参加無料**

## 「エコでユニバーサルな住まいとは」

一向に減らない地球温暖化ガスと、増え続ける高齢者。今後の日本は、環境と福祉を両立させた社会を構築していく必要があります。2012年までに課せられた地球温暖化ガスの削減目標6%を、達成するどころか逆に増える様相を呈し、産業活動における削減努力だけではまかないきれなくなってきました。今一人一人に与えられる使命として、実生活における省エネの取り組みが重要です。そのような中、平成20年度の環境省予算概算要求において、住宅分野でも地球温暖化ガス削減に資するべく、「エコ住宅普及促進事業」が新たに盛り込まれています。

一方、高齢者が増え続ける現状においては、高齢者に対して穏やかで住み心地の良い「住まい」の提供も必須となってきており、心地よく過ごせる「住まい」を提供して行く事もこれからの高齢化社会には必要な事となっています。

そこで、地球温暖化ガス削減にも寄与しつつ、高齢者などが心地よく過ごせる、環境と福祉が融合した「エコロジカルでユニバーサルデザインな住まい」とはどういうものかを提案するために本セミナーを開催致します。

◆【日時】2007年11月28日(水) 13:00~17:00

◆【会場】虎ノ門パストラル 新館6F アジュール

◆【主催】環境新聞

◆【協賛】OMソーラー協会

◆【定員】100名

◆【参加費】無料

### プログラム

#### 基調講演① (13:00~13:45)

講師：室石泰弘 (環境省 地球環境局 地球温暖化対策室 調査官)  
『地球温暖化問題と住宅分野における省エネ対策に向けての施策』 (仮)

#### 基調講演② (13:45~14:30)

講師：炭谷 茂 (環境福祉学会 副会長/財団法人休暇村協会 理事長/前環境事務次官)  
『環境福祉学から考える住まい』

#### パネルディスカッション (14:45~17:00)

コーディネーター：炭谷 茂 (環境福祉学会 副会長/財団法人休暇村協会 理事長/前環境事務次官)  
パネリスト：村田昌樹 (OMソーラー協会 事業部長)、東畠弘子 (福祉ジャーナリスト/日本社会事業大学社会事業研究所研究員)、  
村山祐一 (帝京大学 文学部 教授)、吉田一平 (社会福祉法人愛知たいようの杜 理事長)

プログラム内容、講師は変更になる場合がありますのでご了承下さい。

**申込方法** 別紙申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてお申し込み下さい。

キリトリ線

## 環境福祉セミナー 申込書

**FAX.03-3359-7250**

(お一人様につき1枚でお申し込み下さい。複数名でお申し込みされる場合は、お手数ですが本申込書をコピーしてご利用下さい。)

会社名			
所在地	〒		
申込者	氏名	(ふりがな)	
	部署・役職		
	TEL	FAX	
	E-mail		

※本セミナー参加者に対して、各種案内その他をお送りする場合がございます。

お問い合わせ先

**環境福祉セミナー事務局**

〒160-0004 東京都新宿区四谷3-1-3 第1富澤ビル  
株式会社 環境新聞社 事業部内 TEL.03-3359-5349